

事業名

地元素材を活かした ローカルブランドメニューの開発

那須烏山の自然と文化を背景に開発された冷凍食品「JOMONハンバーグ」

活用した地域資源

■烏山手すき和紙 ■小砂焼 ■みかん

連携者

■烏山和紙ファクトリー「福の紙」(烏山手すき和紙)
■合資会社藤田製陶所(小砂焼) ■道の上みかん園(みかん)



①地元素材を生かしたブランドメニュー「JOMONハンバーグ」 ②那須烏山産みかん ③JOMONハンバーグ商品ロゴマーク ④⑤⑥烏山手すき和紙のロールスクリーンと小砂焼の陶壁

事業内容

那須烏山の地域資源を活かし、「日本人としての郷愁」を表現する地場産品として新しいコンセプトのハンバーグ(冷凍食品)を開発しました。しっかりした商品ブランドを確立したいという考えから、味覚による開発に加え、視覚で訴える商品ロゴ(リーフレットにて活用)、さらに聴覚に訴えるサウンドロゴ及びテーマ曲(イベント及びラジオCMにて使用)を制作しました。また店内でのPRを想定し「いにしへの日本」を感じさせるための演出として、烏山手すき和紙の風合いを活かしたインテリアを「烏山和紙ファクトリー「福の紙」(烏山和紙会館内)」から導入し、味覚のアクセントに那須烏山特産品であるみかんを採用しました。

地域に愛されるサービスであるばかりでなく、インバウンドの目玉になるような話題性のあるメニューシリーズを展開していきたいという思いもあり、「縄文ハンバーグ(JOMONハンバーグ)」という商標を考案。これは那須烏山近辺で縄文~弥生のもので想定される石器類が、多く出土すると言われていることにちなんで名づけました。

有限会社 クローバー

■住所/321-0611 栃木県那須烏山市興野316-1
TEL/0287-84-3968 FAX/0287-84-3901 ■http://www.clover4.co.jp

業務内容

■レストラン・カフェ企画運営 ■ソース・ドレッシング製造販売 ■冷凍食品製造販売

本事業への想い(将来の展望など)

有限会社 クローバー 佐々木 豊

古代の人々は、山からいろいろなものを手に入れていました。水も、食べ物も、そして道具づくりも。だからこそ、山には神様が住むと信じられていたのです。そしてはるか縄文と呼ばれる時代に人々は、動物の肉と木の実などを混ぜ合わせ薄い円盤状にまとめ、焚火に放り込んだ石に押し付けて焼いて食していたと言われていました。

本事業で開発した「JOMONハンバーグ」に込めた想いとは、私たちのルーツ「いにしへの日本」を心で感じることができる食文化を育てることにあります。縄文人の特筆される性質は、「戦いを好まない穏やかさ」にあったと言われていました。というのは、遺跡から狩猟の道具はたくさん見つかったものの、対人用の武器は一つも見つからないのです。「人間同士が争わない洗練された文化」を私たちの祖先は1万年以上も続けていたと思うと、誇らしい気持ちになりませんか？

